

3. 山梨市のバリアフリーに関する現状と課題

3.1 住民意向

バリアフリーに関連した住民意向の把握を目的に、本市がこれまで実施したアンケート調査からバリアフリーに関連した設問や回答者の自由意見を整理しました。

整理したアンケート調査は以下の通りです。

- ・「障害者福祉に関するアンケート調査」(H18)
- ・「山梨市駅南北自由通路及び南口周辺整備事業計画策定のためのアンケート調査」(H25)
- ・「山梨市住民意向調査」(H25)
- ・「山梨市駅南口及び南北自由通路景観デザインに関するアンケート調査」(H26)

<住民意向（障害者意見）のまとめ>

- ・障害者の方々は、過半数が主な交通手段として「自動車（自家用車）」を利用しています。
- ・障害者の方々が、外出時に不便と感じたり困ることで最も多かったのは、「電車・バスなど交通機関の利用が不便」でした。
- ・「とても暮らしやすい」「どちらかという、暮らしやすい」と回答した方が約47.8%、「暮らしにくい」「どちらかという、暮らしにくい」と回答した方が約19.4%でした。
- ・ソフト面で最も必要と考えられることは、「医療費助成の拡充」で、32.9%でした。
- ・ハード面で最も必要と考えられることは、「障害に配慮した公営住宅の整備など、生活の場の確保」で、9.2%でした。

<住民意向のまとめ>

【市全域での意見】

- ・高齢化が進む社会に対応するための具体的な取り組みとして、約96.2%の方が「段差解消など、公共施設や住宅におけるバリアフリー化の推進」を必要としています。

【山梨市駅周辺地区の現状に関する意見】

- ・山梨市駅に駐車場が少ない。
- ・山梨市駅に南口がないため、遠回りする等不便である。
- ・山梨市駅までの公共交通機関（バス等）がなく、不便である。
- ・プラットホームにエスカレーター、エレベーターがなく、不便である。
※バリアフリーになっていない
- ・山梨市駅南側地域は、学校や幼稚園があるのに、道路が狭く、歩道もないため大変危険である。

【山梨市駅の今後の整備に関する意見】

- ・「バリアフリー設備」を必要と思う方は全体の約67%でした。
- ・必要と思う設備のその他の意見として「防犯カメラ」がありました。

3.1.1 障害者福祉に関するアンケート調査（H18）

「障害者福祉に関するアンケート調査」の概要は以下の通りです。

表 3.1 障害者福祉に関するアンケート調査の概要

項目	概要	
調査目的	平成 17 年 10 月、障害者の地域生活と就労を進め、自立を支援するための法律として、「障害者自立支援法」が成立しました。これを踏まえ、山梨市では、「障害者福祉計画（障害者基本法に基づく障害者基本計画及び障害者自立支援法に基づく障害福祉計画）」の策定に向け、障害者の状況、障害者福祉サービスに関する意向を把握し、今後の施策の実施のための基礎資料として本調査を実施しました。	
実施機関	山梨市 福祉事務所	
調査期間	平成 18 年 8 月～9 月	
調査方法	郵送による配布回収	
調査対象者	身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者について、対象者を無作為に抽出して調査を実施しました。	
回収結果	配布数	身体障害者：699 件、知的障害者：121 件、精神障害者：180 件 合計：1,000 件
	回収数	身体障害者：382 件、知的障害者：58 件、精神障害者：65 件 合計：510 件
	回収率	身体障害者：54.6%、知的障害者：47.9%、精神障害者：36.1% 合計：51.0%
バリアフリーに関する設問	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問 53：通勤や通学、施設への通所や病院への通院など、外出する際の交通手段は何ですか。 ・ 問 55：外出の際は、どのような目的で外出されることが多いですか。 ・ 問 56：通勤・通学、その他外出の時に不便に感じたり困ることは何ですか。 ・ 問 57：障害者（児）にとって、山梨市は暮らしやすいまちだと思いますか。 ・ 問 58：あなたは、障害者（児）にとって暮らしよいまちづくりのためには、どのようなことが必要だと考えますか。 	

(1) 各設問のアンケート結果

バリアフリーに関連した各設問のアンケート結果は次ページに示す通りです。

表 3.2 問 53（外出する際の交通手段）の結果

回答選択肢	回答数	割合（※）
バス	56	12.7%
タクシー	113	22.2%
自動車（自家用車）	290	56.9%
電車	43	8.4%
自転車	39	7.6%
徒歩	55	10.8%
その他	35	6.9%
無回答	82	16.1%

表 3.3 問 55（外出の目的）の結果

回答選択肢	回答数	割合（※）
学校や通所施設への通学・通所	55	10.8%
一般事業所などへの通勤	35	6.9%
診察や機能訓練などの通院	262	51.4%
日用品などの買い物	251	49.2%
趣味・スポーツなどの社会参加活動	67	13.1%
地域の行事への参加	66	12.9%
その他	40	7.8%
無回答	80	15.7%

表 3.4 問 56（外出の時に不便に感じたり困ること）の結果

回答選択肢	回答数	割合（※）
電車・バスなど交通機関の利用が不便	112	22.0%
障害者用の駐車スペースが不備、少ない	67	13.1%
歩道に問題が多い（狭い、段差があるなど）	60	11.8%
建物内の設備が利用しにくい（階段、トイレなど）	48	9.4%
休憩できる場所が少ない（身近な公園、歩道のベンチなど）	64	12.5%
人の視線や言葉が気になる	52	10.2%
介助者がいない	15	2.9%
その他	14	2.7%
特にない、外出しない	110	21.6%
無回答	148	29.0%

※複数回答可の為、回答の割合＝（回答者数）÷510（全回答者数）

表 3.5 問 57（山梨市は暮らしやすいまちか）の結果

回答選択肢	回答数	割合
とても暮らしやすいまちだと思う	49	9.6%
どちらかという、暮らしやすいまちだと思う	195	38.2%
どちらかという、暮らしにくいまちだと思う	72	14.1%
暮らしにくいまちだと思う	27	5.3%
わからない	106	20.8%
無回答	61	12.0%
合計	510	100%

表 3.6 問 56（障害者にとって暮らしよいまちづくりのためにどのようなことが必要か）の結果

分類	回答選択肢	回答数	割合（※）
ソフト 整備	相談業務・窓口の充実	129	25.3%
	サービス利用手続きの簡素化	158	31.0%
	サービスなどに関する情報提供の充実	111	21.8%
	保健や福祉の専門的な人材の育成と資質の向上	53	10.4%
	参加しやすいスポーツ、サークル、文化活動の充実	45	8.8%
	いろいろなボランティア活動の育成	16	3.1%
	保健・医療・福祉のサービスの充実	149	29.2%
	個性を生かした保育・教育内容の充実	11	2.2%
	職業訓練の充実や働く場所の確保	48	9.4%
	障害に関係なく、市民同士がふれあう機会や場の充実	39	7.6%
	災害時における連絡や避難など、支援体制の整備	78	15.3%
	地域の理解を深めるための福祉教育や広報活動の充実	60	11.8%
	医療費助成の拡大	168	32.9%
ハード 整備	入所施設の整備	31	6.1%
	リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	46	9.0%
	利用しやすい公共施設の整備・改善	39	7.6%
	利用しやすい道路・建物などの整備・改善	39	7.6%
	障害に配慮した公営住宅の整備など、生活の場の確保	47	9.2%
	その他	13	2.5%

※複数回答可の為、回答の割合 = (回答者数) ÷ 510 (全回答者数)

3.1.2 山梨市駅南北自由通路及び南口周辺整備事業計画策定のためのアンケート調査 (H25)

「山梨市駅南北自由通路及び南口周辺整備事業計画策定のためのアンケート調査」の概要は以下の通りです。

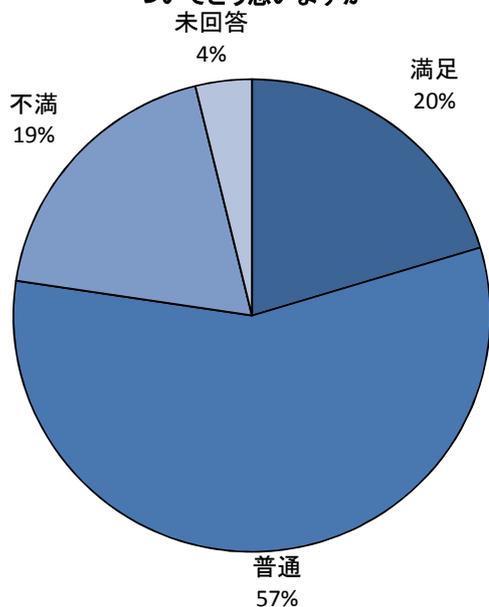
表 3.7 山梨市駅南北自由通路及び南口周辺整備事業計画策定のためのアンケート調査の概要

項目	概要	
調査目的	山梨市駅南北自由通路及び南口周辺整備事業計画の策定にあたり、「山梨市駅南地域周辺の現状」の諸事項について、住民の皆様のご意見を伺うアンケート調査を行い、また事業実施後に同様のアンケート調査を行うことで、本事業の事業効果の比較判定をすることを目的としています。 今回の調査は、事業実施前の現状調査にあたります。	
実施機関	山梨市 都市計画課	
調査期間	平成 25 年 7 月～8 月	
調査方法	郵送による配布回収	
調査対象者	加納岩地区（大野、上神内川、下神内川、下石森、上石森） 16 歳以上 80 歳未満の日本人男女 住民基本台帳より、無作為に抽出して調査を実施しました。	
回収結果	配布数	1,000 人
	回収数	407 人
	回収率	約 40%
バリアフリーに関する設問	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問 8：現山梨市駅までの交通手段についてどう思いますか。 ・ 問 9：現山梨市駅施設をどう思いますか。 ・ 問 10：現山梨市駅までの道路（歩道）の整備状況についてどう思いますか。 ・ 問 11：問 8～10 を総合的に考えて、現山梨市駅の利用満足度をお答えください。 ・ 問 21：自由意見 	

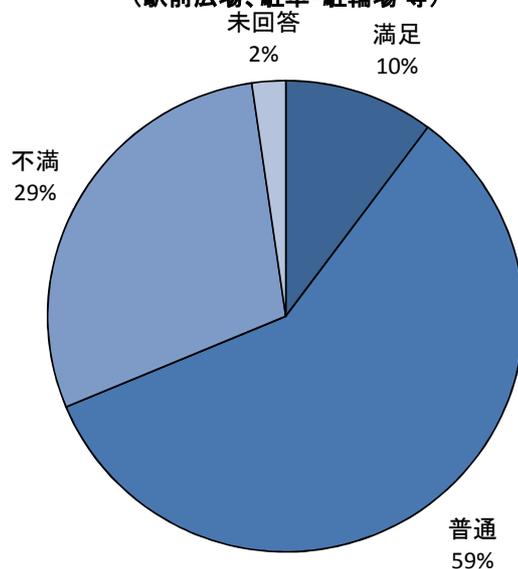
(1) 各設問のアンケート結果

バリアフリーに関連した各設問のアンケート結果は以下の通りです。

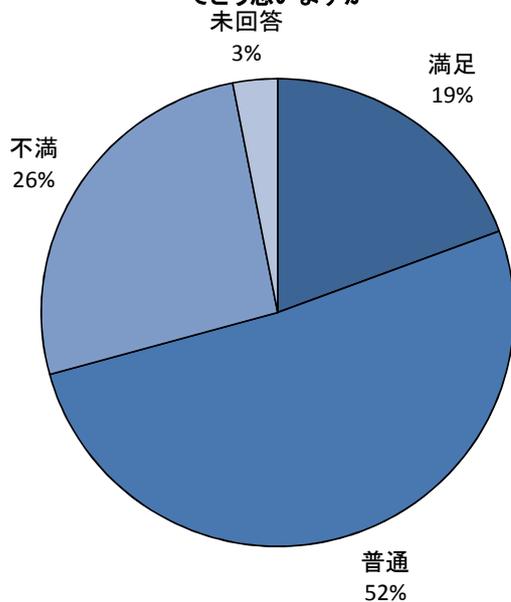
問8: 問7でお答え頂いた山梨市駅までの交通手段についてどう思いますか



問9: 山梨市駅施設をどう思いますか (駅前広場、駐車・駐輪場等)



問10: 山梨市駅までの道路(歩道)の整備状況についてどう思いますか



問11: 問8~問10を総合的に考えて、現在の山梨市駅の利用満足度をお答えください

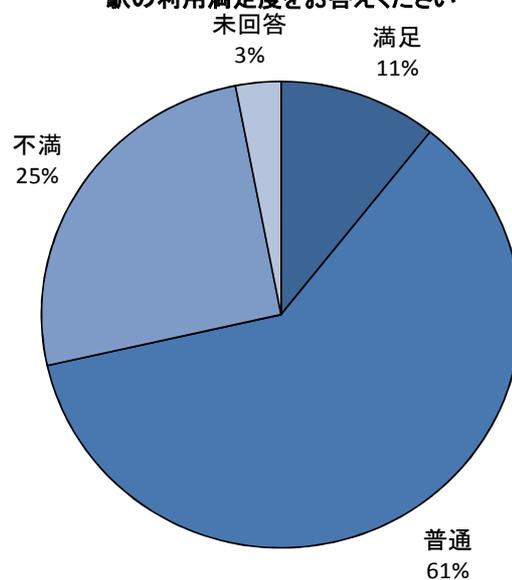


図 3.1 バリアフリーの関する設問のアンケート結果

(2) 具体的な不満点

バリアフリーに関連した各設問のアンケート結果より、山梨市駅に対する具体的な不満点を整理しました。

具体的な不満点として、多かった意見は以下の通りです。

<具体的な不満点>

- ・ 駐車場が少ない、遠い
- ・ 南口がない
- ・ バスなどの駅までの公共交通機関がない
- ・ 道路が狭い、歩道がない、危険
- ・ プラットホームにエスカレーター、エレベーターがない (バリアフリーになっていない)

(3) 問 21 : 自由意見

自由意見より、バリアフリーに関する内容について抽出・整理しました。

バリアフリーに関する自由意見は、概ね下記の 3 項目についての意見が寄せられています。

<バリアフリーに関する主な意見>

- ・ 山梨市駅にエスカレーター、エレベーターがなく、特に老人、要支援者はホーム間の移動が不便
- ・ 山梨市駅に南口がなく、北側に遠回りする必要があるため不便
- ・ 山梨市駅南側地域は、学校や幼稚園があるのに、道路が狭く、歩道もないため大変危険

3.1.3 山梨市住民意向調査（H25）

「山梨市住民意向調査」の概要は以下の通りです。

表 3.8 山梨市住民意向調査の概要

項目	概要
調査目的	山梨市の主な施策に対する、市民の満足度や必要度を把握し、住民のニーズに対応した施策を推進するための基礎資料とします。
実施機関	山梨市
調査期間	平成 25 年 11 月～12 月
調査方法	郵送による配布回収
調査対象者	20 歳以上の市民 2,000 人 旧市町村ごとの人口に注目した比例配分法による層化無作為抽出
回収結果	配布数 2,000 件
	回収数 1,226 件
	回収率 61.3%
バリアフリーに関する設問	・問 8：あなたは、高齢化が進む社会に対応するため、具体的にどのような取り組みが必要だとお考えですか。

(1) 設問のアンケート結果

バリアフリーに関連した設問のアンケート結果は図 3.2 に示す通りです。

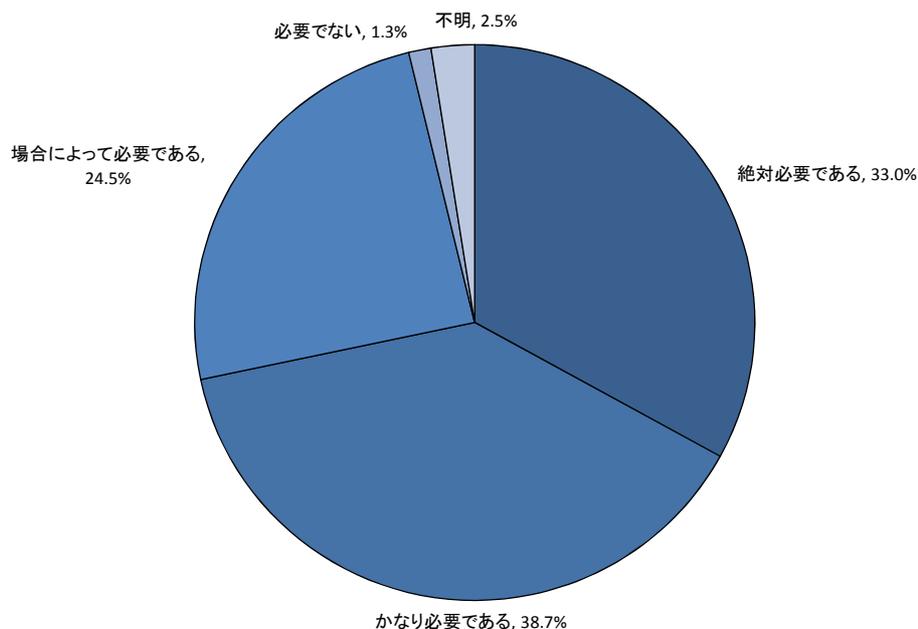


図 3.2 段差解消など、公共施設や住宅におけるバリアフリー化の推進の必要度

3.1.4 山梨市駅南口及び南北自由通路景観デザイン策定のためのアンケート調査（H26）

「山梨市駅南口及び南北自由通路景観デザイン策定のためのアンケート調査」の概要は以下の通りです。

表 3.9 山梨市駅南口及び南北自由通路景観デザイン策定のためのアンケート調査の概要

項目	概要	
調査目的	<ul style="list-style-type: none"> 山梨市駅南口及び南北自由通路の景観デザインの策定に際し、基本方針の段階から住民の意向を踏まえたものとするため。 新駅舎に対する設備面での住民の意向を調査・把握するため。 	
実施機関	山梨市 都市計画課	
調査期間	平成 26 年 8 月～9 月	
調査方法	郵送による配布回収 山梨市駅、市役所等への設置回収 インターネットによる配布回収	
調査対象者	山梨市全域 16 歳以上 80 歳未満の日本人男女 住民基本台帳より、無作為に抽出して調査を実施しました。	
回収結果	配布数	2,000 人（郵送） 90 部（設置）
	回収数	851 人（有効回答数 527 人）
	回収率	約 40%
バリアフリーに関する設問	<ul style="list-style-type: none"> 問 13：山梨市駅南口駅前広場に必要と思う設備をお答えください。 問 14：山梨市駅南北自由通路に必要と思う設備をお答えください。 	

(1) 南口駅前広場に必要と思う施設（問 13）

- ・「バリアフリー施設」を必要と思う方は全体の約 67%でした。
- ・その他の意見として「防犯カメラ」がありました。

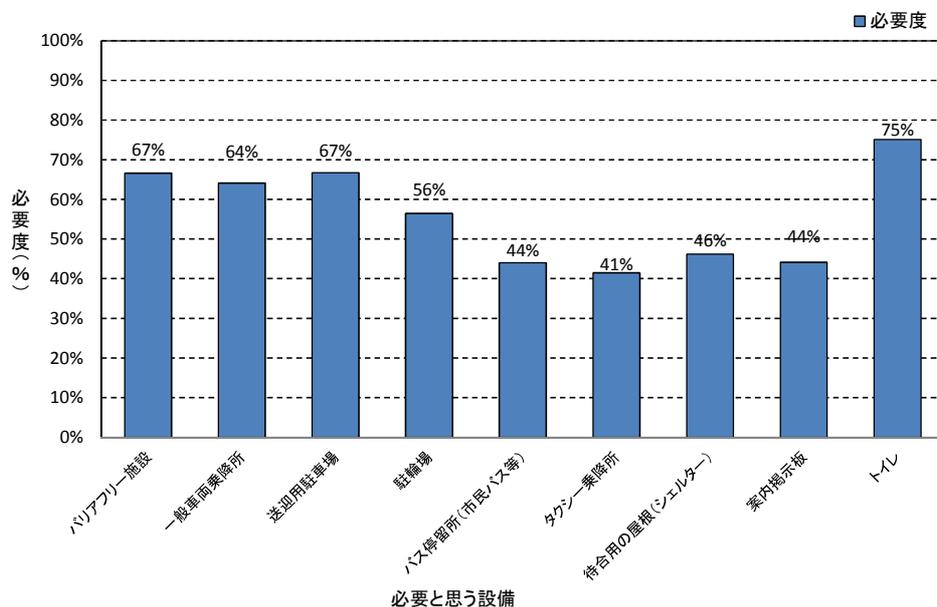


図 3.3 南口駅前広場の施設に対する住民意向

(2) 南北自由通路に必要と思う施設（問 14）

- ・「バリアフリー施設」を必要と思う方は全体の約 68%でした。
- ・「防犯カメラ」を必要と思う方は全体の約 59%でした。
- ・「エスカレーター」を必要と思う方は全体の約 52%でした。
- ・「エレベーター」を必要と思う方は全体の約 47%でした。

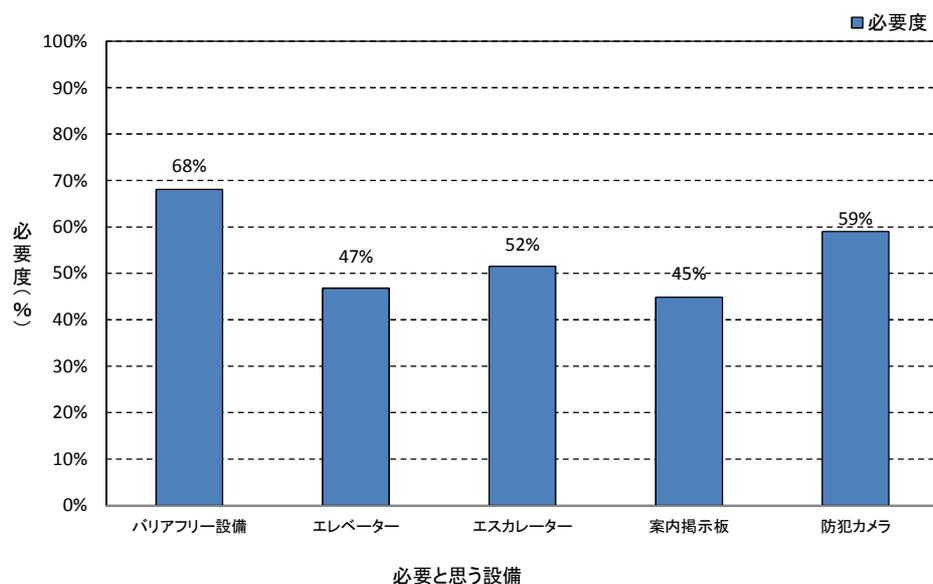


図 3.4 南北自由通路の施設に対する住民意向

3.2 バリアフリーに対する市の主な取り組み実績

本市における、バリアフリーに関する市の主な取り組み実績を整理しました。

表 3.10 バリアフリーに対する市の取り組み実績（ハード整備）

分類	実施場所		実施年度	実施内容	
ハード整備	道路	都市計画道路 根津橋通り線 (国道140号～市道青梅支線)	H25	<ul style="list-style-type: none"> ・電線類の地中化 ・歩道の拡幅 ・視覚障害者誘導ブロックの設置 ・バリアフリー対応型（音声付）信号機の設置 ※一部県施工含む	 
	道路	都市計画道路 山梨市駅東山梨線 (駅前～市役所南交差点)	H22	<ul style="list-style-type: none"> ・電線類の地中化 ・歩道の拡幅 ・視覚障害者誘導ブロックの設置 ・バリアフリー対応型（音声付）信号機の設置 	 
	駅前広場	山梨市駅北口広場 (夢の実広場)	H17	<ul style="list-style-type: none"> ・段差の解消（スロープの設置 等） ・視覚障害者誘導ブロックの設置 ・多目的（多機能）トイレの設置 ・障害者等用駐車場の設置 	 
	建築物	山梨市役所	H20	<ul style="list-style-type: none"> ・段差の解消（スロープの設置 等） ・視覚障害者誘導ブロックの設置 ・エレベーターの設置 ・多目的（多機能）トイレの設置 ・障害者等用駐車場の設置 	 

表 3.11 バリアフリーに対する市の取組み実績（ハード整備）

分類	実施場所		実施年度		実施内容
	建築物	山梨市地域交流センター (街の駅やまなし)	H21	<ul style="list-style-type: none"> ・段差の解消（スロープの設置 等） ・視覚障害者誘導ブロックの設置 ・多目的（多機能）トイレの設置 ・障害者等用駐車場の設置 	 
	建築物	市営駐車場	H17	<ul style="list-style-type: none"> ・エレベーターの設置 ・多目的（多機能）トイレの設置 ・障害者等用駐車場の設置 	 
ハード整備	公園 運動場	小原スポーツ広場	H26	<ul style="list-style-type: none"> ・段差の解消（スロープの設置 等） ・多目的（多機能）トイレの設置 	 
	公園 運動場	万力公園	H3	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的（多機能）トイレの設置 ・障害者等用駐車場の設置 	 
	公園 運動場	上神内川やすらぎ公園	H16	<ul style="list-style-type: none"> ・段差の解消（スロープの設置 等） ・多目的（多機能）トイレの設置 	 

表 3.12 バリアフリーに対する市の取組み実績（ソフト整備）

分類	実施場所		実施年度	実施内容	
ソフト整備	計 画	山梨市障害者福祉計画	H19	<p>障害者福祉施策の一層の推進を図るため、「人権を尊重し自立と参加を支えあう福祉のまちづくり」を基本理念として、本計画を策定しました。</p> <p>※バリアフリーに関する内容：障害者基本計画第6章等参照</p>	 <p>山梨市障害者福祉計画</p> <p>障害者基本計画に基づく障害者基本計画 障害者自立支援法に基づく障害者計画</p> <p>平成19年3月 山 梨 市</p> <p>http://www.city.yamanashi.yamanashi.jp/gover/vision/health/2012-0427-1018-44.html</p>
	計 画	山梨市地域福祉計画	H22	<p>安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指すため、「ふれあいを大切に ともに生き、ともに支える、やさしいまち 山梨市」を基本理念として、本計画を策定しました。</p> <p>※バリアフリーに関する内容：第4章③等参照</p>	 <p>山梨市地域福祉計画</p> <p>平成22年2月</p> <p>http://www.city.yamanashi.yamanashi.jp/news/2011-0520-1123-43.html</p>
	計 画	山梨市高齢者いきいき安心プラン	H24	<p>第1次山梨市総合計画の「山梨市“元気創造プロジェクト”」の「元気な市民生活」を実現するため、「いきいきと仲間とともに担う支えあいと安心のまちづくり」を基本理念に本計画を策定しました。</p> <p>※バリアフリーに関する内容：各論第4章等参照</p>	 <p>山梨市高齢者いきいき安心プラン</p> <p>山梨市 高齢者福祉計画 第5期介護保険事業計画</p> <p>平成24年3月 山 梨 市</p> <p>http://www.city.yamanashi.yamanashi.jp/gover/vision/health/senior_welfare.html</p>

3.3 山梨市のバリアフリーに関する課題

3.3.1 具体的な課題例

(1) 具体的な課題例の確認場所

図に示した場所で、具体的な課題例の確認を行いました。

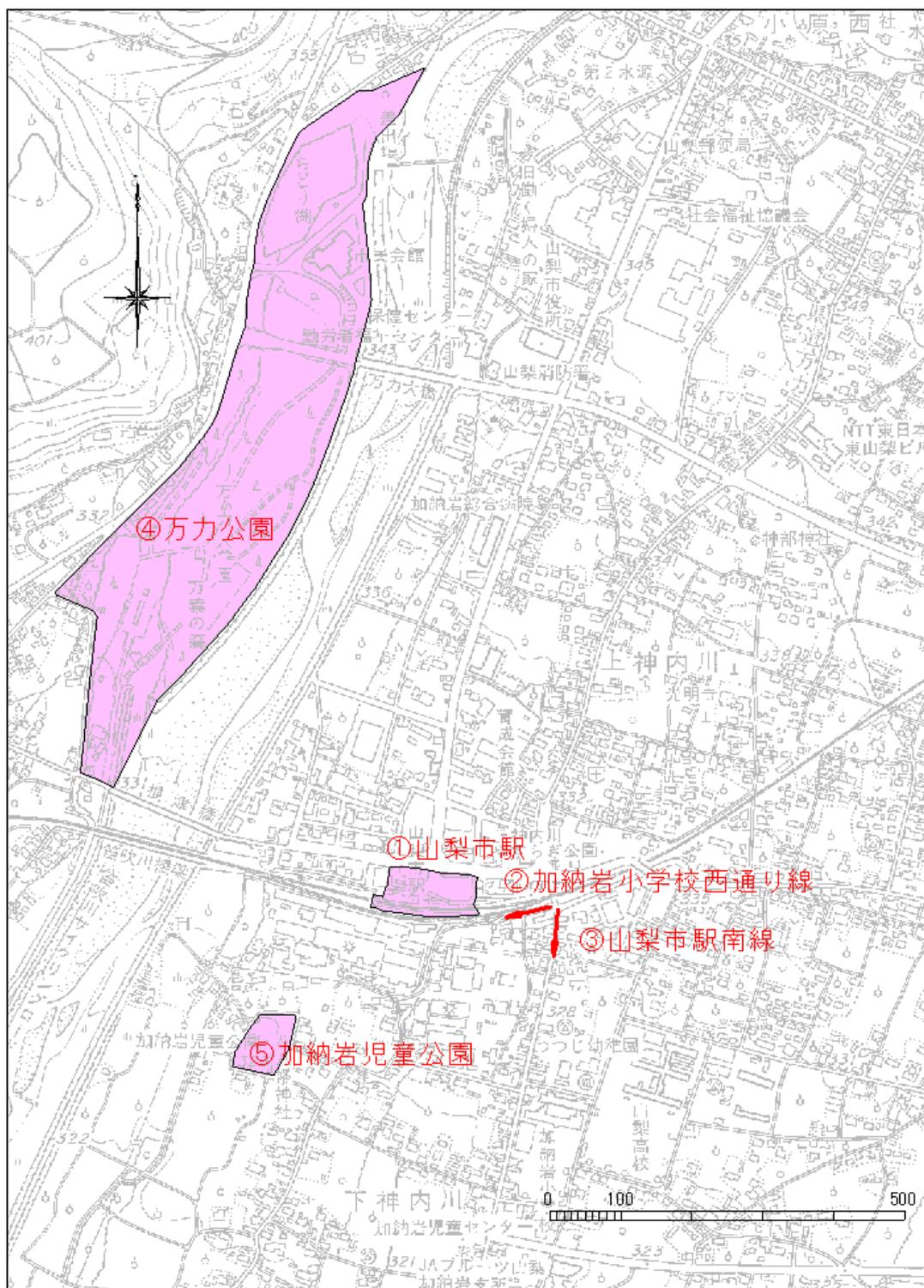


図 3.5 課題例の確認場所

(2) 具体的な課題例

山梨市におけるバリアフリーの課題として具体例を示します。

表 3.13 バリアフリーの具体的な課題例

分類	場所		課題の内容	
ハード整備	道路	都市計画道路 加納岩小学校西通り線	<ul style="list-style-type: none"> 道幅が狭く、歩道等の設置もされていない 	
	道路	都市計画道路 山梨市駅南線	<ul style="list-style-type: none"> 道幅が狭く、歩道等の設置もされていない 	
	建築物	山梨市駅	<ul style="list-style-type: none"> エレベーター等の昇降機が設置されていない 	
	公園 運動場	万力公園 加納岩児童公園	<ul style="list-style-type: none"> 段差が解消されていない箇所がある 多目的トイレが設置されていない 	

3.3.2 山梨市のバリアフリーに関する課題のまとめ

「山梨市の概況」の整理結果から、本市のバリアフリーに関する課題を抽出・整理しました。

課題①：利用者の多い施設（山梨市駅等）や道路を中心に、利便性・移動性を向上する必要があります。

- ・アンケート結果等から、山梨市駅南側の地域において、山梨市駅までの移動経路が狭く危険であることがわかります。
- ・山梨市駅の駅舎及び駅前広場は、スロープや点字、視覚障害者誘導ブロックなどのバリアフリー化を実施していますが、プラットホームにおけるエレベーターやエスカレーターがなく、移動に困難な状況にあります。
- ・山梨市駅以外にも、利用者の多い施設を中心に、バリアフリー化を進める必要があります。

課題②：障害の違い等による様々な課題を拾い上げ、解決策を検討していく必要があります。

- ・「障害」には、「視覚障害」、「聴覚障害」、「身体障害」、「知的障害」等様々な障害があり、更に細かく見ると、「視覚障害」においても、「全盲」や「弱視」等の違いがあります。
- ・今後、障害の違いに応じたバリアフリー化を民・官一体となって進める必要があります。

課題③：継続的、発展的なバリアフリーのまちづくりを実践する必要があります。

- ・本基本構想策定後や特定事業実施後においても、バリアフリーに関する問題箇所を、利用者の声を聴きながら継続的に点検し、構想の見直しや新たな事業の実施等、段階的にバリアフリーのまちづくりを進めていく必要があります。

課題④：互いに支えあうために、市民のバリアフリーに関する知識や意識を高め、ノーマライゼーション※の理念を浸透させる必要があります。

- ・バリアフリー化された施設等の効果を最大限に発揮するために、利用する人たちのバリアフリーに関するソフト施策等が必要です。

※ノーマライゼーションとは

- ・直訳では、「普通のものにすること」という意味で、障害者や高齢者など社会的不利を受けやすい人々が、社会の中で他の人々と同じように普通の生活を送ることができる社会こそ普通の社会であるという考え方です。（出典：山梨市障害者福祉計画）